

報告監第15号

平成15年11月11日

西宮市監査委員	川 畑 和 人
同	森 池 とよたけ
同	村 西 進
同	横 山 良 章

財政援助団体監査結果報告

(西宮市大学交流協議会)

地方自治法第199条第7項の規定により、財政援助団体監査を行った結果は、次のとおりです。

同条第9項の規定に従い報告します。

財政援助団体監査報告書

第1 監査の期間及び方法

平成15年9月3日から事務局監査に入り、その結果復命を受け、同年10月24日に監査委員による質問会を実施し、その後、結果報告の審議を行いました。

第2 監査の対象

市が西宮市大学交流協議会に交付した補助金及び補助対象事業費の出納その他の事務について、主として平成14年4月1日から15年3月31日までの期間に執行された事務を対象に監査を実施しました。

なお、報告書の作成にあたっては、事務の執行状況について、総合企画局及び同協議会提出による直近の数値を用いるように努めました。

(対象となる補助金の名称及び金額)

西宮市大学交流協議会運営費補助金 5,000,000円

第3 監査の結果

次のとおりです。

1 協議会の概要

(1) 設立目的

西宮市大学交流協議会(以下「協議会」という。)は協議会設立趣意書(平成13年1月31日)によれば、「大学交流センターの整備を機に、市が平成4年に策定した『カレッジタウン西宮』構想に賛同する大学・短期大学は、学术交流や文化芸術活動等を通じて相互の連携を深め、地域社会や産業界とも交流を図るため、連携事業を推進する機構として『西宮市大学交流協議会』を設立する。協議会は、単位互換制度に基づく共通単位講座をはじめ、カレッジタウン西宮にふさわしい様々な交流事業、調査研究事業、情報発信事業等を行い、大学の教育研究のさらなる向上と、併せて、その成果を地域社会や産業界へ還元することを目的とし、各大学・短期大学と西宮商工会議所、西宮市をもって構成するものとする。」としています。

(2) 設立等の経過

平成 4 年 3 月 「カレッジタウン西宮」構想策定。

13 年 3 月 「協議会」設立。

「西宮市大学交流協議会規約」制定、施行。

13 年 4 月 「西宮市大学交流センター」開設。

(3) 組織の現況

協議会の組織は、理事会、運営委員会、専門委員会、監事及び事務局が設けられています。15 年 9 月 30 日現在、理事長 1 名、副理事長 2 名、理事 7 名及び監事 2 名の役員、運営委員 18 名及び専門委員会委員 41 名が選任されています。事務局は事務局長と職員計 2 名により運営を行っています。

理事には参加大学・短期大学の学長（8 名）、西宮商工会議所会頭及び西宮市長が就任しています。理事会は 14 年度に 3 回開催されていますが、うち 2 回は書面表決をされています。

「西宮市大学交流協議会規約」第 17 条に書面表決等についての規定はありますが、議案の内容も考慮し、できる限り会議により運営するよう努めてください。

(4) 協議会の加盟大学及び負担金

加盟大学は 10 校 8 法人です。負担額は 1,000 万円で各大学、短期大学校別に均等割額 3 分の 1、学生数割額（13 年 5 月 1 日の学校基本調査を基礎として、西宮市内キャンパスに存する学部・学科の学生数に修正）3 分の 2 としています。

各校の負担額は次のとおりです。

（単位：円）

大学名	負担額
大手前大学	941,600
関西学院大学	3,481,200
甲子園短期大学	504,900
神戸女学院大学	932,700
夙川学院短期大学	631,500
聖和大学	646,600
聖和大学短期大学部	
兵庫医科大学	541,500
武庫川女子大学	2,320,000
武庫川女子大学短期大学部	
計	10,000,000

(5) 事務所所在地

協議会の事務所は行政財産の使用許可を得て、西宮市北口町1番2号(西宮市大学交流センター内)に置かれています。

2 事業の概要

協議会では団体の運営のほかに、平成14年度は次の事業を行っています。

(1) 西宮市大学共通単位講座(規約第4条第1号) 4,073,940円

区分	前期4月~7月	後期10月~1月	計
科目数	10科目	11科目	21科目
受講者数	150人	314人	464人

市内各大学・短期大学から提供される特色ある授業科目を、所属の枠を超えて他校の学生とともに受講し、単位を修得できる講座です。「生体と水」「現代思想のパフォーマンス」「文化人類学」「環境科学入門-身近な環境問題の現状と課題」「グリム童話と魔女-魔女裁判とジェンダーの視点から」など21科目(252回)が開講され受講者は464人です。

受講者アンケート(13年度実施)の集計では、募集ガイドの記載、シラバス(講義の要旨)の様式、受講手続・出願票・申込の時期などは80~90%の者が分かり易かったと評価しています。講義内容については良かったと評価した者は68%、来年度も講座を履修したい者を加えると95%の者が現状を評価しています。また、希望開講科目については、心理学、教育学、芸術学、歴史学、社会学、法学、政治学などを推す者が多く見られます。

(2) 資格取得講座(規約第4条第2号) 760,000円

民間事業者(ECC)による講座(8講座)は、次のとおりです。

(単位:回・円・人)

区分	回数	受講料/人	受講者数	資格取得者数		平均点・合格率	大学の全国平均点 全国平均合格率	
				受検者	合格			
前期	TOEIC	20	34,900	10	25	11	476.6点	418点
	TOEIC	10	34,900	25				
	WORD3級	8	31,500	2	2	2	100.0%	78.1%
	EXCEL3級	8	31,500	6	8	7	87.5%	83.8%
	EXCEL3級	8	31,500	2				
後期	TOEIC	10	28,000	23	12	6	508.8点	418点
	MOUS一般(WORD)	9	31,500	6	2	1	50.0%	82.8%
	MOUS一般(EXCEL)	9	31,500	9	4	4	100.0%	
計	82		83	53	31			

注1 「TOEIC」アメリカのテスト機関 ETS が運営している国際的な英語コミュニケーションの能力を測定するテスト、本講座では500点、600点突破を目指す

2 「MOUS一般」マイクロソフトのオフィス製品の利用能力を測る試験で、一般ユーザー向けのパソコン検定

3 「WORD3級・EXCEL3級」日本ソフトウェア教育協会のWORD・EXCEL認定試験3級合格を目標としている

ECCによる講座受講者のうち検定受検者の結果を見た場合、TOEICについては500点突破が37人中17人(45.9%)、平均点は前期、後期とも大学の全国平均点を大きく上回っています。WORD3級については100%、EXCEL3級については87.5%の合格率で、全国平均合格率を大きく上回っています。MOUS一般のWORDは50%でしたが、EXCELは100%と全国平均合格率を大きく上回っています。

また、協議会の自主運営講座(9講座)は次のとおりです。

(単位:回・円・人)

区分		回数	受講料/人	受講者数
前期	EXCEL 基礎	3	7,000	5
夏休み	使いこなせる WORD	8	20,000	3
	EXCEL 基礎	1	6,000	4
	EXCEL 基礎	1	6,000	4
	使いこなせる EXCEL	8	20,000	8
後期	めざせ合格簿記3級	15	16,500	37
春休み	WORD 基礎	1	6,000	6
	使いこなせる WORD	4	20,000	3
	EXCEL 基礎	1	6,000	7
計		42		77

注 「めざせ合格簿記3級」の検定試験受検者数は24人、合格者は9人(37.5%)
西宮商工会議所管内の合格率は26.6%

英語のTOEICやパソコン・簿記など、就職にも役立つ各種資格取得を目指す講座です。14年度は協議会の自主運営による9講座と民間事業者による8講座が開講され、計160人が受講しています。

民間事業者による講座の開設にあたって明文化された契約・覚書が交わされていません。協議会の事業として実施している以上、適切な対処が必要であると考えられます。

また、講座によっては5人を下回る受講者で開講されたものがあります。今後、受講者の増加に向けて努力されるよう要望します。

(3) 市民対象講座(インターカレッジ西宮)(規約第4条第3号、第8号) 2,736,005円
(単位:回・円・人)

区分		テーマ	回数	受講料/人	受講者
大学共同講座(市委託)	前期	癒し・再生・平和	4	3,000	72
	後期		4	3,000	70
セミナー	情報科学	IT革命は暮らしをどう変えるか	4	3,000	50
	人間科学	カウンセラーが語る子育て、そして家族	4	3,000	35
	音楽	オペラ入門	4	3,000	110
	文学	子どもの文化と絵本	4	3,000	66
	考古学	考古学から見た「播磨国風土記」	4	3,000	79
	美術	クロード・モネ	4	3,000	70
	心理学	カウンセリングと癒し	4	3,000	40
	経営学	内部組織の活性化とオフィス環境	4	3,000	18
	文学	時代を生きた作家たち	3	2,500	59
	レクチャー	医学	便秘・不眠症	2	1,500
歴史学		イタリア・ルネサンスの路地裏探訪	2	1,500	45
計			47	-	746

14年度は自主事業として「情報科学セミナー」など9セミナー、「医学レクチャー」など2レクチャー、市からの受託事業として「大学共同講座」前期後期各4回が開講され、計746人が受講しています。これらは市内各大学の教員が講師となり、様々なテーマで開講される講座であり、大学が有する知的資産に市民が触れる機会を広げています。提出された「インターカレッジ西宮」受講者アンケート(抽出)によれば、「考古学セミナー」「医学レクチャー」では身近なテーマで日常生活に参考となることが多くあり、参加してよかった今後も続けてほしいという意見が多数でした。

(4) 広報(規約第4条第4号) 857,855円

大学交流センターでの各種事業や市内の大学に関する情報を、センター内の情報コーナーやホームページ(<http://www.nishi.or.jp/~daigaku/>)やiモード情報を作成・更新(携帯端末用サイト(<http://www.nishi.or.jp/i/g.html>))するなど、多彩なメディアで発信しています。14年度の提供情報の利用件数はホームページ151,234件、iモード12,105件です。また「西宮市大学交流センターたより『EN(えん)』」を発行しています。

(5) 学生イベント(規約第4条第5号) 1,539,905 円

区 分	参加者数	来場者数
にしのみや市民祭り出展 はつらつ! カレッジ村	7ブース 約70人	-
第2回西宮市大学交流祭(2日間) 展示・ステージ・模擬店	24団体 約280人	約4,500人

秋に、市内各大学学園祭のプレイベントとして「大学交流祭」を開催するなど、学生サークルの舞台発表や作品展示などで市民との交流を深めています。

14年度は「にしのみや市民祭り」に「はつらつ! カレッジ村」として学生と子ども達との交流を図るゲームコーナーなど7ブースを出展しました。また、10月12日、13日には「第2回西宮市大学交流祭」を市内各大学から24団体の参加で開催し約4,500人の来場者がありました。

(6) 産学交流(規約第4条第6号) 205,970 円

先輩若手社員の奮闘ぶりから学ぶ企業説明会や企業見学セミナーの実施など、大学・学生と産業界との交流事業を進めています。

14年度は「『明日があるさ』若手社員奮闘中」を実施しています。内容は次のとおりです。

(単位:人)

開催日	講師の所属企業	参加者数
4月17日	シャープ(株) 経営企画室	9
5月15日	住商食品(株) 大阪営業部	5
6月19日	多夢の森 デイサービスセンター	8
10月16日	兵庫医科大学 学務部教務学生課	6
11月20日	三井住友銀リース(株) 商品事業部	5
12月18日	神鋼ケアライフ(株) ドマーニ神戸	9
1月15日	和弘学園 塩屋幼稚園	10
計		52

企業見学セミナーの内容は次のとおりです。

(単位:人)

見学日	見学先	参加者数
9月13日	アサヒビール(株) 西宮工場	18
	関電情報システム(株)	13
計		31

14年度は7回の企業説明会を開催し、52人の参加がありました。また、商工会議所の協力を得て行った企業見学セミナーは2回開催され31人の参加がありました。今後、インターシップの具体化も課題の一つとしています。

この他にも学産官の協働の動きが始まっています。13年度に市が行った買物動向調査や

14年度に西宮商工会議所が行った日本酒PRのためのタペストリーデザインには大学の参加が行われています。市の買物動向調査については、調査、集計、分析に大学生が参加し、市内購買施設の課題を具体的に把握するとともに、学内のゼミナール活動の中で起業について考え、有志で夙川グリーンタウン内の空店舗を借りて起業を試行するなど、波及効果が拡大しています。

(7) 学生ボランティア交流(規約第4条第7号) 1,672,296円

阪神・淡路大震災を契機に高まった、学生のボランティア活動の支援と学生相互の交流を図るため、9年に設立された「西宮学生ボランティア交流センター」の活動を発展的に継承し、学生ボランティア登録、ホームページなどによる活動先の紹介、ボランティア情報の収集・提供などを行っています。

活動情報登録件数は次のとおりです。

(単位：件)

募集内容	高齢者福祉	障害者福祉	児童福祉	個人支援	イベント	計
件数	3	21	19	13	25	81

14年度の登録者は659人ですが、活動の状況は把握できていません。

今後、学生ボランティアの活動状況を把握すること及び西宮市社会福祉協議会のボランティアセンターとの交流を行うことが課題です。

2年間の活動を振り返って、協議会は市内に立地する各大学・短期大学がそれぞれ点的存在であったものが線で結ばれ面へ広がる発展の兆しを掴んだともいえると自己評価をしています。

今後とも、共同講座などの活動を通じて学生交流、地域・産業界との交流がますます活発化し、成果を大学はもとより、地域社会や産業界へも還元されるよう期待します。

3 協議会の収支の状況

平成 14 年度における収支の状況は、次のとおりです。

(1) 収入の状況

(単位：円)

勘定科目		予算額	決算額	説明
大科目	中科目			
負担金収入	加盟大学負担金	10,000,000	10,000,000	
補助金収入	西宮市補助金	5,000,000	5,000,000	
受講料収入	市民対象講座	1,500,000	1,667,000	
	資格取得講座	1,035,000	989,280	資格取得講座(自主事業分)
	計	2,535,000	2,656,280	
講座事業収入		156,000	9,300	資格取得講座(委託事業分)
受託事業収入	インターカレッジ西宮	1,600,000	1,600,000	
	カレッジタウン西宮ガイド	200,000	209,000	
	大学交流センターホームページ	300,000	300,000	
	学生・市民交流事業	1,300,000	1,300,000	(学園祭)
	計	3,400,000	3,409,000	
雑収入		70,000	153,250	コピーサービス・機器貸出
基金繰入金収入		1,897,000	0	協議会運営基金取崩し
預金利息		1,000	7,443	
前期繰越収支差額		4,595,000	4,594,198	
合計		27,654,000	25,829,471	

収入の計は、2,582 万円で主なものは、加盟大学負担金 1,000 万円、「西宮市大学交流協議会運営費補助事業要綱」(以下「要綱」という。)により交付された西宮市補助金 500 万円、受託事業収入 340 万円及び受講料収入 265 万円です。

なお、学生・市民交流事業として市から受託している大学交流祭については、事業の主旨から考えれば、市民の参加と協働をより強めるなど、実施の内容・方法についてより効果的なあり方を検討してください。

(2) 支出の状況

(単位：円)

勘定科目		予算額	決算額
大科目	中科目		
人件費	事務局職員報酬等	6,730,000	6,431,479
	臨時職員報酬等	669,000	26,350
	計	7,399,000	6,457,829
運営費	共通単位講座	4,270,000	4,073,940
	資格取得講座	1,010,000	760,000
	市民対象講座	1,500,000	1,353,135
	広報	860,000	857,855
	学生イベント	400,000	240,000
	産学交流	500,000	205,970
	学生ボランティア交流	1,680,000	1,672,296
	計	10,220,000	9,163,196
受託事業費	インターカレッジ西宮	1,400,000	1,382,870
	カレッジタウンガイド	210,000	205,440
	ホームページ更新	290,000	280,420
	学生・市民交流	1,300,000	1,299,905
	計	3,200,000	3,168,635
事務費	会議費	80,000	15,096
	旅費交通費	80,000	2,760
	通信運搬費	204,000	204,000
	消耗什器備品費	80,000	0
	消耗品費	1,080,000	348,126
	印刷製本費	24,000	0
	修繕費	50,000	5,250
	賃借料	541,000	338,980
	諸謝金	60,000	40,000
	負担金支出	20,000	0
	雑費	20,000	0
計	2,239,000	954,212	
運営基金積立金	積立金	4,596,000	4,594,198
合計		27,654,000	24,338,070

支出の計は、2,433 万円で主なものは、人件費の事務局職員報酬等 643 万円、運営費の共通単位講座 407 万円、学生ボランティア交流 167 万円、市民対象講座 135 万円、運営基金積立金の 459 万円などです。

収支の差額 1,491,401 円は運営基金に積み立てられています。

収支の状況について、関係書類の 14 年 4 月分、5 月分を抽出し検査しました。収入については収入報告書、経理簿、預金通帳とを、また支出については支出命令書、支出証拠書類、経理簿とをそれぞれ照合する方法で調査を行ったところ、いずれも適正に処理されていました。

(3) 西宮市大学交流協議会運営基金の状況

(単位：円)

区 分	15年度(予定)	14年度	13年度
前年度末現在高	20,436,508	15,842,310	0
積立額	1,491,401	4,594,198	15,842,310
取崩額	0	0	0
当年度末現在高	21,927,909	20,436,508	15,842,310

協議会設立準備の段階で、すでに大学連携で行われていた「西宮学生ボランティアセンター」の事業と資産を協議会が継承することに伴い、この資産をもって運営基金(以下「基金」という。)を設置したものです。

基金はこの他各事業年度において収支の余剰が生じた場合に積立て、財源不足の際には、これを取り崩して運営費に充てる目的で設置されています。

基金は三井住友銀行(800万円)、りそな銀行(500万円)、UFJ信託銀行(300万円)の定期預金3口座とUFJ信託銀行(443万円)の普通口座で保管されています。

なお、基金に係る規程は整備されていません。毎年度の予算審議の理事会で積立て等の取扱を決めていますが、今後、規程(目的、積立て及び取り崩しの基準など)を整備してください。

4 補助金の交付

(1) 補助の目的と対象団体

「要綱」第1条に「この要綱は『カレッジタウン西宮』構想に基づき、西宮市大学交流センターを拠点として、市内の大学・短期大学が中心となって大学間の交流活動及び大学と地域社会や産業界との交流活動を行うことを目的として設立された西宮市大学交流協議会の運営費の一部を補助することに関して必要な事項を定める。」としています。

(2) 補助金の算定

「要綱」第2条の「補助金の額は、協議会を運営するために大学が負担する額の総額の2分の1を超えない範囲で予算で定める額とする。」によっています。

しかしながら、「要綱」には補助金の使途についての言及が無く、補助対象事業の内容が明確ではありません。今後、「要綱」の内容について検討してください。

(3) 予算措置・執行額

(会計) 一般会計 (款) 総務費 (項) 総務費 (目) 大学交流センター費
(節) 負担金補助及び交付金 5,000,000円

(4) 補助金の交付

次のとおり行われています。

(単位：円)

交付申請	交付決定	補助決定額	請求日	支払日	交付額
14. 4. 3	14. 4. 4	5,000,000	14. 4. 4	14. 4. 25	2,500,000
			14.10. 1	14.10. 8	2,500,000

14年度の補助金は14年4月4日に交付決定しています。補助金は2回に分けて交付され三井住友銀行の協議会の口座に振込まれています。

実績報告書は15年5月31日付で協議会から市へ提出されています。

補助金の交付手続きは、「補助金等の取扱いに関する規則」に基づいて適正に行われています。

(5) 補助金の経理

協議会の経理は予算差引簿により行われていますが、根拠となる経理規程が定められていません。

今後、制定が望まれます。

(6) 補助事業者(運営責任者)

西宮市大学交流協議会 理事長 平松一夫氏

5 今後の課題

協議会は、今後更なる事業内容の充実と受講者の増加、効率的な運営・経費執行を課題としています。また、市域を越えた加盟大学の拡大や提携についても研究を始めようとしています。

本市にあっても、これらの取組みに必要な援助・指導を行い、大学の相互連携、地域社会や産業界との交流などにより、文化のまちづくり、にぎわいや活力のあるまちづくりの実を挙げるよう努めてください。